

## 【CT肺がん検診と肺がん検診との違い】

CT肺がん検診と肺がん検診の両方は受けられません。検診の違いをご確認の上、お申込みください。

### ◆CT肺がん検診のメリット

- ・従来の肺がん検診では見えにくい心臓・胸骨・肋骨などの陰に隠れているがんや2 cm以下の小さながんなども発見できるため、より早期にがんを発見でき、治療により完治する可能性が高まる。
- ・肺がん以外の呼吸器や循環器の病気を確実に診断できる。
- ・乳腺や肝臓、副腎などの病気が偶然発見される場合がある。

### ◆CT肺がん検診のデメリット

- ・がんでないのに精密検査や経過観察が必要とされ、負担を負う可能性がある。
- ・生命に危険のない非常に発育の遅いがんが発見され、必要以上の検査や治療を受ける可能性がないわけではない。
- ・放射線被ばく線量は、胃がん検診とほぼ同じで、現時点では安全な範囲とされているが、胸部X線肺がん検診の約7～8倍である。

## ■65歳以上の人は、1年に1回肺がん検診を受けましょう

若い頃結核が流行していた世代では、結核に既に感染している人が多く、加齢により免疫力が低下することで結核を発症するリスクが高くなります。日本では結核患者の多くは高齢者という現状です。早期に発見し早期に治療を始めることは自身の健康を守るだけでなく、大切な家族や周りの人への感染拡大を防ぐためにも重要です。

65歳以上の人で胸のレントゲンを病院等で撮らない場合は、肺がん検診をお申込みください。

### ■申込み・お問い合わせ

保健福祉課 保健係（総合福祉センター「ハピネス」内）

☎・☆4-3356

